

清水亮『軍都を生きる』(岩波書店、2023年) 合評会

日時: **2024年3月10日(日)** 14:00~17:00

参加無料

開場: 立命館大学朱雀キャンパス307教室

【評者】

荻野昌弘(関西学院大学教授)

鈴木裕貴(立命館大学衣笠総合研究機構生存学研究所研究員)

【応答者】

清水亮(東京大学未来ビジョン研究センター特任助教)

【司会および問い合わせ先】

角田燎(立命館大学立命館アジア・日本研究所専門研究員)

tsunoryu@fc.ritsumeai.ac.jp

<概要>

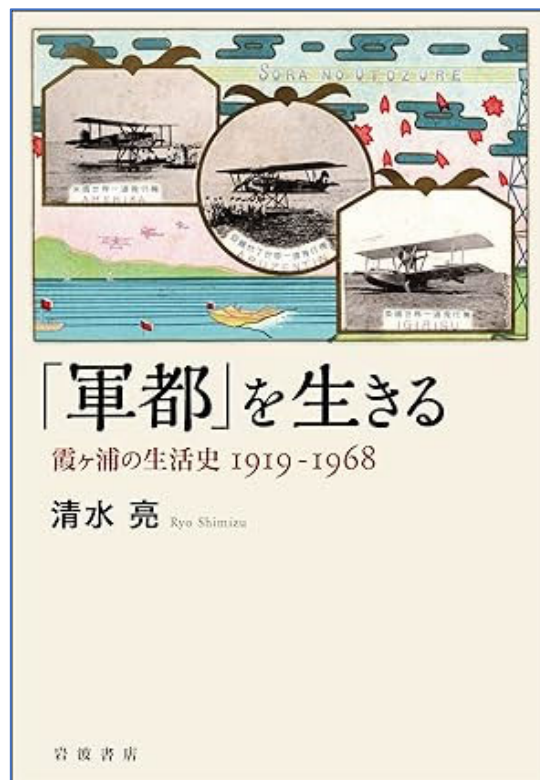
『軍都を生きる』(岩波書店、2023年)は、茨城県霞ヶ浦における軍隊、基地と地域住民の関係を克明に描くことで、軍隊がいかに地域社会と共存しているのかを明らかにした好著である。

本合評会では、荻野昌弘先生、鈴木裕貴先生からコメントいただき、清水亮先生に応答していただく。その後、質疑応答に移り、登壇者および参加者とディスカッションを行う。

本研究会が地域社会と基地の関係を考える機会となれば幸いである。

※参加をご希望の方は、下記のリンク先もしくはQRコードからお申し込みください。

<https://x.gd/bTUva>



【共催】

- 立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化と地域の多様性(diversity)」
- 科学研究費・研究活動スタート支援「現代日本における元自衛官の自己呈示と社会活動」(研究代表者:角田燎)
- 科学研究費・基盤研究(B)「『家族主義レジーム』の変容に関する国際比較研究—家族政策の多様化とその因果的背景」(研究代表者:加藤雅俊)